

TAC-MI開講科目	修士課程				博士後期課程						修了に必要な単位数	
	M1		M2		D1		D2		D3			
	1,2Q	3,4Q	1,2Q	3,4Q	1,2Q	3,4Q	1,2Q	3,4Q	1,2Q	3,4Q		
必修科目			物質情報基礎 (1単位) マテリアルズシミュレーション (2単位) マテリアルズインフォマティクス (2単位) 物質情報異分野研究スキル (2単位)	物質・情報卓越プラクティススクール第一&第二 (4単位) (物質・情報卓越海外オフキャンパスプロジェクト (プラクティススクールの代替4単位))								12
選択科目		異分野のラボを訪問して、研究を進めます。訪問時期は、訪問先研究室と相談して決めます。新コース移行の関係上、できるだけ2024年度中に終えるようにしてください。			プラクティススクールでは、企業に約6週間滞在し、チームで企業の最先端課題を解決します。(やむを得ない事情がある場合のみ代替として、海外の大学等に3か月以上滞在するオフキャンパスを志望することも可能です。)							0
独創力涵養 (推奨科目)		基盤人工知能 (1単位) 基盤人工知能演習 (1単位)	全学科目である「基盤人工知能」「基盤人工知能演習」を履修しておくことを強く推奨します。		これらの科目は、コースの標準学修課程の修了要件となっているアントレプレナーシップ (キャリア) 科目とみなすことができます。							0
社会サービス創出		修士キャリア構築ロールモデル (1単位)	コースの標準学修課程の修了要件となっているアントレプレナーシップ (キャリア) 科目、文系教養科目の多くが、TAC-MI指定科目となっています。TAC-MI登録前に履修しておく、登録後の履修をスムーズに進められます。									1
リーダーシップ	グローバルコミュニケーション (1単位)		※多くの科目が指定されていますが、代表的なところで、修士課程のTAC-MI指定リベラルアーツ科目には「世界を知る」科目は含まれませんので、ご注意ください。	戦略的ディベート (1単位)								2
リベラルアーツ	心身のタフネス (1単位)	文系エッセンス7:経済学 (1単位)	リーダーシップ道場 (1単位)		越境型教養科目 (2単位)							5
修了に必要な単位数	2	2	1	7	5	3	0	0	0	0	0	20
イベント等	審査		選抜試験 (7月)	TAC-MI登録 博士後期課程進学时審査 (3月)	博士論文研究基礎力審査 (QE) (12月)	自主設定論文は自ら設定したテーマで、博士論文とは別の論文を作成します。D2の成果発表会又は国際フォーラムのいずれかで口頭発表を行います。	コースでの審査とは別に、TAC-MIとしての修了審査を行います。	修了審査	修了おめでとう!			
イベント (*2)			合格おめでとう!	コースでの審査とは別に、TAC-MIとしての進学时審査を行います。	成果発表会 (6月) <参加必須 (発表)> 成果発表会 (9月) <参加推奨>	国際フォーラム (12月) <参加必須 (発表)> 未来社会サービス創出ワークショップ (12月) <参加必須 (グループワーク)> 自主設定論文	成果発表会 (6月) <参加必須 (発表またはD2の一部は運営)> 成果発表会 (9月) <参加推奨 (D2の一部は運営にて参加必須)>	国際フォーラム (12月) <参加必須 (運営)> 未来社会サービス創出ワークショップ (12月) <参加必須 (オブザーバー)>	提出締め切りは、修了9カ月前までです。			
コース標準学修課程	履修 (*3)	修士研究講究(8単位) 専門科目(12単位以上) 文系教養科目 (3単位以上) アントレプレナーシップ (キャリア) 科目 (2単位以上)	選択コースでの修士論文	博士研究講究(12単位) 専門科目(4単位以上) 文系教養科目 (2単位以上) アントレプレナーシップ (キャリア) 科目 (4単位以上)	選択コースでの博士論文							
審査			選択コースでの修士論文審査 博士進学試験								選択コースでの博士論文審査 博士最終試験	

(\*1) 指定科目は、学修案内の表3から自由に選んでください。この表では一例を示しています。

(\*2) 国際フォーラム・未来社会サービス創出ワークショップは2025年度からなくなり、他の代替イベントを別の形式で実施する予定です。

(\*3) あるコースでの一例です。各コースにより異なりますので、必ず選択コースの修了要件をご確認ください。